

# 岡部洋一 林正樹

percussion

piano

2018 02月11日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

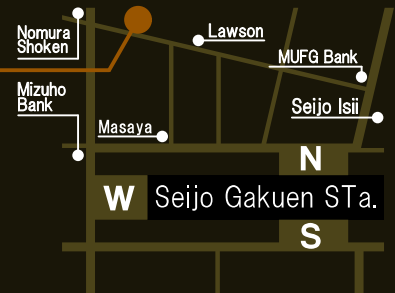
(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3000円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047  
info.cafebeulmans@gmail.com  
東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 岡部洋一

1962年東京都出身。高校時代からパーカッションの演奏を始める。早稲田大学在学中にラテン音楽やロックのサークルに出入りし、プロとしての活動を開始。歌謡曲のバックや、ブラジル音楽、ジャズなど幅広く演奏する。現在はトランスロックバンド「ROVO」や、プログレッシブジャズロックバンド「ボンデー・ジフルーツ」、16人編成のブラスロックバンド「THE THRILL」のメンバー。2001年、ソロアルバム「SATIATION」をまぼろしの世界からリリース。2006年には、ソロライブアルバム「感覚の地平線」をリリース。洗足音楽大学ジャズコース非常勤講師。主な共演アーティストは溝口壱、佐藤允彦、鈴木良雄、向井滋春、勝井祐二、鬼怒無月、芳垣安洋、小野リサ、Baden Powell、João Donato、ホッピー神山、ショーロ・クラブ、村田陽一、村松健、遠藤律子、中村善郎、福岡ユタカ、酒井俊、中島啓江、アキコ・グレース、木之下真市、菅野よう子、今堀恒雄、納浩一、柏木広樹、木住野佳子、中西敏博、朝崎郁恵、Saigenji、榎原大、鈴木亜紀、リアナ・エレロ、デビッド・サンボーン、などなど。

## 林正樹

1978年東京生れ。少年期より独学で音楽理論を学び、その後、佐藤允彦に師事。ジャズピアノや作編曲などを習得。大学在学中の1997年12月に、伊藤多喜雄&TakioBandの南米ツアーに参加。音楽家としてのキャリアをスタートさせる。現在は自作曲を中心とするソロでの演奏や、生音でのアンサンブルをコンセプトとした「間を奏でる」、田中信正とのピアノ連弾「のぶまさき」などの自己のプロジェクトの他に、「渡辺貞夫クインテット」「菊地成孔とペペ・トルメント・アスカラル」「Salle Gaveau」「Blue Note Tokyo All Star Jazz Orchestra」など多数のユニットに在籍。演奏家としては、長谷川きよし、小野リサ、椎名林檎、古澤巖、小松亮太、中西俊博、伊藤君子をはじめ、多方面のアーティストと共演。多種多様な音楽的要素を内包した、独自の諧謔を孕んだ静的なソングライティングと繊細な演奏が高次で融合するスタイルは、国内外で高い評価を獲得している。2015年9月〈SPIRAL RECORDS〉より「コンポーズ」を主眼に置いたソロ・アルバム、「Pendulum」をリリース。